

♡♡ 赤い羽根共同募金運動 街頭募金 ♡♡

あかいはねのぼきん、
おねがいしまーす!!

10月から「赤い羽根共同募金運動」が始まり、ボランティアグループや保育園児、募金推進委員等が10月1日には「Aコープ山崎店」「道の駅播磨いちのみや」で、10月2日には「咲ランドショッピングセンター」で募金への協力を呼びかけました。



写真は10月1日、旬彩蔵(山崎町今宿)で募金を呼びかける山崎若葉保育園児たち

みなさまには、募金への
あたたかいご協力をよろしくお願いします。



ボランティア
センター日誌

絵本の読み聞かせ

『そらめくんとめだかのこ』



9月18日(火) 千種杉の子保育園

『ふきのとう千種』は朗読ボランティアグループ。13名のメンバーが、いつもは声の広報をテープに吹き込んでいるが、今年6月から新たな活動として保育園への訪問が始まっている。

この日は、2人のメンバーが、2才～5才の園児36人に、絵本の朗読を披露。子どもたちは微動にせず、話に聞き入っていた。

「今日は2、3才児も一緒に参加してみました。ちゃんと聞けるか心配だったんですけど…。子どもたちは本当にお話が好きなんですよ」と岡徳子園長。

お話をたくさん聞いて、豊かな心をもった子に育ちますように…。 (千種支部 小原志のぶ)

ボランティア活動は楽しくなくてはいけません!



新しく活動希望したボランティアも交えて意見交換
看護師・病院職員との連携が大切です!

9月20日(木) 穴栗総合病院

穴栗総合病院ボランティア“めいちゃん”では、元日本病院ボランティア協会副理事長の倉橋弘子氏をお招きし、研修会を行った。

患者さんとの接し方や距離感、また病院内での個人情報のことなど、病院ボランティアならではの難しさや、患者さんへの寄り添い方などたくさんの質問や意見が飛び交う有意義な研修となった。

「みなさんのいきいきした顔を拝見し、楽しく活動されているのが伝わりました。ボランティアは楽しい活動でなくては!」と倉橋氏。

これからも地域と病院を結ぶ架け橋として、患者さんに笑顔を届ける「楽しいボランティア活動を!」。みなさんの活動を応援しています。 (本部 田中祥仁)

人形劇で
子どもたちに夢を



音楽に合わせて
一緒にスキップ!

9月21日(金) 穴栗防災センター

毎月第3金曜日に開催している、やまさき子育てサロンに今年も、ボランティアグループ“人形劇ゆめ工房やまさき”のみなさんが登場。

子どもたちが参加できるように自作したオリジナル人形劇『どうぶつと遊ぼう』を披露していた。「大人も楽しめたな」と参加者からの声。また、「子どもたちの笑顔で元気をもらえます」と代表の嶋津千里さん。

ゆめ工房のみなさん、これからも人形劇を通して子どもたちに夢を与えて下さいね。

こうしたみんなが楽しめる企画で、参加者をたくさん増やしたいと思う。 (山崎支部 横山洋子)